

新制 「かけがわっ子ひろば」が スタートしました



かけがわっ子ひろば 開所式

掛川小学校体育館 2015.10.1

去る 10 月 1 日（木）、かけがわっ子ひろばの開所式が行われ、掛川地域力向上委員会運営の学童保育活動が始まりました。場所は写真正面奥バスケットゴール上段の掛川小学校体育館二階にある約 90㎡の部屋です。

特別に寒い時、暑い時には臨時的に小学校本館の音楽室も使います。そのため、音楽室にはエアコン設備も整えてもらいました。児童は授業が終わると直接体育館まで行けばよく、今までのように両町の町民会館まで移動する必要がなくなりました。

あるぼむ

開所式

開所式には瀬戸市副市長をはじめとする来賓のみなさん、掛川小学校児童、地域の皆さんあわせて127名の参加がありました。参加者にはお祝いの紅白饅頭が配られました。



寄付・寄贈をいただいた二つの事業者に感謝状を贈呈しました。



株式会社小西砕石工業所



千葉電化株式会社

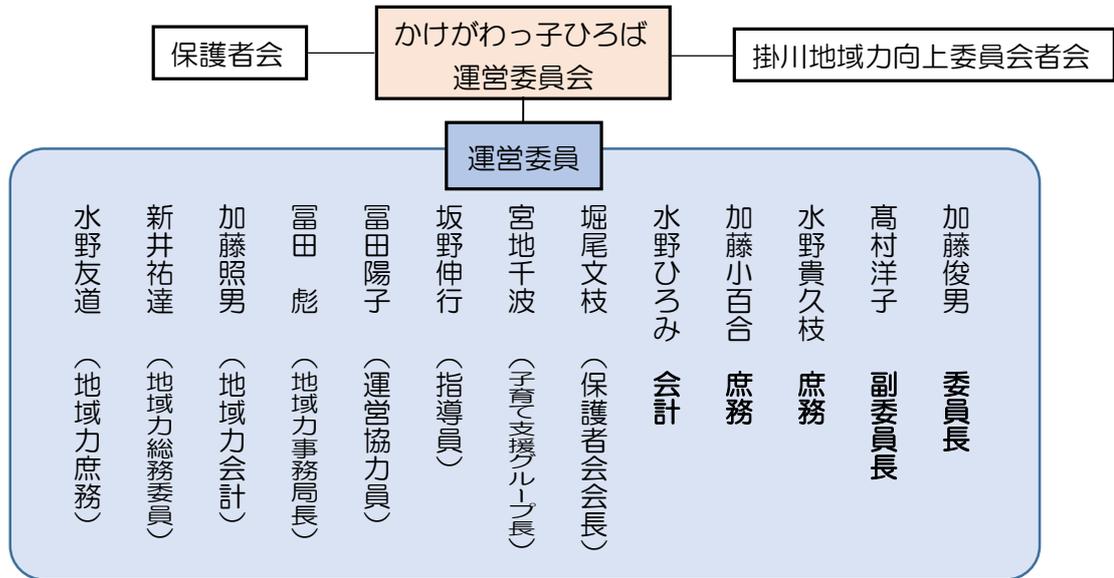
職員の坂野伸行さんと富田陽子さん

定光寺町の川井信一さん制作による看板を取りつける会長と副市長



「かけがわっ子ひろば運営委員会」を設置しました

「かけがわっ子ひろば」を運営していくため、「かけがわっ子ひろば運営委員会」を設置しました。運営委員を保護者会・地域力向上委員会双方から選出し、職員二人を加えて13名で組織することになりました。委員は年度ごとに改選する予定です。



学習田の稲刈り・脱穀



10月5日(月)、掛川小学校の学習田での稲の刈り取りと、10月15日(木)の脱穀で会員の有志がサポートしました。

今年から地域の農家が提供した自動式の脱穀機が使えるようになったため、効率的な作業ができるようになりました。子どもたちは昔ながらの足踏み脱穀機も体験しました。



「の」のつく日とつかない日

11月には文化の日と勤労感謝の日の2回の国民の祝日があります。この機会に国民の祝日について考えてみましょう。

「国民の祝日」は国民の祝日法という法律に基づいて呼び方や日が定められているもので、現在は1年間に1月1日の元日をはじめとして12月23日の天皇誕生日まで15回あります。来年からは8月11日の「山の日」が追加され、16回となる予定です。これにより国民の祝日がない月は6月だけとなります。

さて、カレンダーなどで国民の祝日を眺めていると「の」つく祝日とつかない祝日があることに気づくと思います。つかないのは「元日」「憲法記念日」「天皇誕生日」の三つです。それ以外はすべて「〇〇の日」というように「の」がつきます。この「の」がつくかつかないかは非常に重要な意味をもっています。

気付いている人もいると思いますが、歴史的にみても社会的事実と照らし合わせてみてもこの日しかないという日に定められているのが「の」のつかない日です。元日は1月1日をさす言葉ですからそれ以外の日になることは絶対にありえません。同じように憲法記念日は日本国憲法が施行されたその日、つまり5月3日です。天皇誕生日も天皇の生まれた日ですからいずれも他の日に変えようがありませんね。

これに対して「の」のつく祝日は歴史上の事実などによらないで、〇月〇日を「△△の日」と定めたものです。

「建国記念の日」をよく「建国記念日」と言う人がいますが、これは明らかに間

違ってきます。2月11日は日本という国が建国された日をさしているわけではないのです（歴史上はっきりとしていません）。そういう意味からあえて「の」をつけてこの日が建国された日であるかどうかをあいまいにしているともいえるのです。

「の」のつく祝日は年によっては日にちがずれることがあります。2003年以降のいわゆるハッピーマンデー制度により日曜日と重なった時は祝日を直後の月曜日に移動させることになりました。歴史的・社会的事実とは無関係に制定された日であるのでこのような操作が可能になったといえます。これを移動祝日ともいいます。

「春分の日」と「秋分の日」は国民の祝日法で太陽がちょうど赤道上来た日（春分日・秋分日）と定めていますが、地球の公転速度の変化により年によって1～3日ずれることがあります。この二つの祝日は他の移動祝日とは違って、国立天文台の「暦象年表」に基づき決定しています。春分の日と秋分の日は必ずしも毎年同じ日に固定されない祝日なのでやはり「の」がついているのです。

国民の祝日と国民の祝日の間に平日が挟まれる場合はその日を休日とすることが国民の休日法で定められています。国民の祝日のように固有名詞をつけず、すべて「国民の休日」と呼ぶことになっています。





掛川小学校の沿革 1/3

掛川小学校は今年で創立 141 年目にあたります。ところで、掛川小学校という校名は創設当初から使われていたわけではありません。学制改革や市町村合併によって何度も名称変更がなされ現在に至っているのです。

総集編として掛川小学校の沿革を要約し校名の変遷を追ってみました。(校名の変遷 太字部分)

年 代	できごと
明治 5 年	沓掛村上内垣外（かみうちがいと）の観音堂に義校開設 (8月2日に学制が發布される)
明治 6 年	<ul style="list-style-type: none"> 赤津村に春日井郡第 30 番小学東明学校創設（この地方初の公立学校） 上内垣外の観音堂にあった仏像 3 体 を定光寺開山堂に預ける。(5月)
明治 7 年	第 30 番東明学校沓掛出張所 観音堂にあった義校をそのまま出張所に移行(1月) <ul style="list-style-type: none"> この地域最初の公立学校であり掛川小学校の始まりとされる。 初代校長として松本茂左エ門就任(4月)
明治 8 年	東明学校沓掛分校 出張所の名を廃し、沓掛分校とした。(3月)
明治 10 年	第 3 中学区第 138 番赤津学校沓掛分校
明治 12 年	第 3 中学区第 30 番小学沓掛学校 学制改革により校名変更し独立(12月) 春日井郡が東西の 2 郡に分かれる。
明治 16 年	下半田川分教場 八劔社南に開設 下半田川学校 と称した。
明治 22 年	下半田川村と沓掛村が合併し、掛川村が誕生、それぞれ大字下半田川、大字沓掛となる。
明治 25 年	掛川尋常小学校 と改称(10月1日) 校名に掛川の名が付されたのは明治 25 年 10 月 1 日以降であり、それまでは所在地である沓掛の文字を冠した名称であった。
明治 29 年	観音堂跡に新校舎竣工
明治 30 年	下半田川分教場を廃止
明治 39 年	掛川村が上品野村、下品野村と合併し品野村誕生。 それぞれが品野村大字下半田川、大字沓掛となる。
大正元年	上内垣外 863 から校舎移転するため沓掛字半ノ木 1223-11 に建設していた完成間近の校舎が猛烈な暴風により全壊した。(9月21日)
大正 2 年	掛川尋常高等小学校 高等科併設したため校名変更(4月1日) <ul style="list-style-type: none"> 10月30日沓掛字後田 1202 につっかい棒のある堅牢な校舎を建て直し上内垣外から移転した。これよりつん張り学校が始まる。 上の運動場の校舎は完成を見ることなく幻の校舎となった。

会員の声 掛川地区の魅力再発見

下半田川町 近藤左千夫

近藤さんは現在、コミュニティーグループ長として掛川地区の忘れられかけている所を発掘し、皆に再認識してもらおうと掛川マップ作りに中心的な立場で取り組んでいます。

平成 26 年度中に実施された 4 回のワークショップの中で、今住んでいる地域で感じていることをみんなで話し合いました。その中で私はこんなことを感じています。

① 自然環境からみて

- 国の特別天然記念物オオサンショウウオが棲んでいる。
- ミストラノオ、ニリンソウ、カザグルマ、ムヨウラン、ハナノキ、クロミノニシゴリ、ヒトツバタゴなど珍しい植物もあり、種類も多い。
- 美しい里山が残っている。

② 歴史的にみて

- 平安時代の観音菩薩像があり、県の文化財指定を受けている。
- 定光寺という古刹があり、そこには徳川義直公の廟所がある。
- 城東西国三十三観音の二十七・二十八番札所がある。
- 窯跡が何か所もあり、特に尾呂古窯の尾呂とっくりは有名である。
- 数々の石造物がある。
- 江戸末期の高札が残っている。
- 明治初期の掛川小学校創設の地(観音堂跡)が残っている。

掛川地区は自然豊かで歴史的に見ても大変魅力的な地であり、地域の宝がたくさんあります。

これらに関心をもってもらい、後世に伝えていくためにどうしたらよいかコミュニティーグループで話し合いました。一つの方法としてまず地域マップを作ることにになりました。

マップ作りではとりあえずは史跡、名木、ビューポイント、バス停などを入れていくことにしました。マップの大きさは畳一枚の大きさです。作業の中で議論になったのは植物を入れるかどうかでした。地図に示すには種類が多く、生育地も何か所かに分かれていることや、希少種では盗掘される恐れもあるので必要に応じてウォーキングなどの際に現場で説明することにし、原則的には地図上には明示しないことにしました。

10 月中に仮マップがほぼ完成しました。このマップは今後、地域力向上委員会や公民館の活動にも役立てていきたいと考えています。そのために畳一枚サイズの原版は掛川公民館に置き、これをもとにして A3 サイズのハンディマップを作り、各家庭にも配布していきたいと思っています。



掛川マップづくりに取り組む
コミュニティーグループのメンバー

編集後記



前号でもお知らせしましたが、7 月より掛川地域力向上委員会の活動内容を地域活動支援室のホームページに投稿し、私たちの活動の様子を広く発信しています。地域のみなさんも右の URL からぜひのぞいてみてください。 <http://203.129.114.11/chiikiriyoku/>